

# 埼玉 GPN NEWS

Saitama Green Purchasing Network  
埼玉グリーン購入ネットワークニュース  
第16号 2016年3月

～環境への負荷が少ない商品・サービスの優先購入を進める  
首都圏初の地域ネットワーク～

埼玉GPN NEWS 2016.3



埼玉縣信用金庫 理事長 橋本義昭氏

## 「埼玉県の環境意識醸成の 一翼を担っていきたい」 埼玉縣信用金庫 理事長 橋本義昭氏

今回は、埼玉縣信用金庫の橋本義昭理事長に環境への取組等についてお聞きしました。



環境問題への意気込みを語る橋本理事長

### 業界を挙げて環境問題に取り組む

江田：埼玉縣信用金庫の環境への取組についてお聞かせください。

橋本理事長：信用金庫業界では、業界を挙げて環境問題に取り組んでおり、「信用金庫業界の環境問題に関する行動計画」や数値目標を設定した上で、達成状況を毎年確認しております。全国信用金庫協会のホームページにおいても各金庫の取組が公開されております。

す。当金庫におきましても、環境問題への取組の推進、管理体制を整備して様々な施策において環境に配慮した活動を行っております。

### 環境関連商品でお客様をサポート

江田：環境配慮型の商品はいかがでしょうか。

橋本理事長：金融商品としては、太陽光発電や家庭用燃料電池等のエコ関連設備の購入・設置のための資金をご融資する住宅ローン商品「太陽光発電&エコリフォームプラン」をご用意しております。また、事業性融資におきましても、「さいしん成長基盤強化応援ファンド」という商品では、環境・エネルギー事業を成長基盤分野の1つと位置づけており、環境問題に取り組む企業のサポートを行っております。

### 環境に配慮した金庫内での取組

江田：環境面で具体的に力を入れていることはありますか。

橋本理事長：当金庫では、店舗の建替えを進めており、環境に配慮した設備の整備に力を入れています。平成25年5月にオープンした川口朝日支店では当金庫で初めての太陽光パネルを設置いたしました。更に、平成26年11月オープンの三郷支店では直流給電システムを導入しました。電力ロスの少ない直流方式でLED照明に電気を供給することにより、CO<sub>2</sub>排出量や消費電力の削減を実現するものです。太陽光パネルで発電した電気の直流給電も可能となっております。口

## CONTENTS

- トップインタビュー 埼玉縣信用金庫 橋本義昭氏 ..... 1
- 地方公共団体担当者向け グリーン購入実践講座 ..... 2  
体験学習会「水素社会の展望&燃料電池自動車・電気自動車試乗会」
- エコプロダクツ2015を見て ..... 3  
会員紹介「東京ガス株式会社 埼玉支社」
- 埼玉GPN会員一覧 ..... 4

ビーに電力使用量が表示されるパネルも設置して、環境への意識を高めています。今後の建替え店舗についても、このような環境に配慮した設備を取り入れていく予定です。

また、平成22年に埼玉県内の金融機関で初めて営業車に電気自動車を採用しました。浦和支店、熊谷本部（熊谷東支店）、川口朝日支店の駐車場ではEVスタンドも設置しており、自動車分野における取り組みも進めています。

各種の設備を整えるとともに、夏期はクールビズを実施するなど全役職員が一丸となって節電に努めています。平成25年には女性職員の制服にクールビズ用オーバーブラウスの着用を制定しました。オーバーブラウスは風通しの良い素材となっており、冷房器具の過度な使用を避けることができます。

### 地域の金融機関ならではの取組

**江田：**地域貢献にも力を入れているとお聞きしましたが。

**橋本理事長：**「埼玉の優れた自然や貴重な歴史的環境を県民共有の財産として末永く保全していくこと」という趣旨に賛同し、昭和60年より「さいたま緑のトラスト基金」へ継続して寄付を行っており、「森林の整備・保全」、「身近な緑の保全・創出」、「県民運動の展開」に活用されています。これまでの寄付金額は平成28年1月末で総額2,350万円を超えました。

また、平成23年6月より埼玉県と「廃棄物不法投棄の情報提供に関する協定書」を締結しております。外訪活動が多い信用金庫の特性を活かし、業務中に廃棄物の不法投棄を発見した場合は、県への情報提供を行っております。

信用金庫とは、地域のために行動する金融機関です。本業と環境問題を切り離すのではなく、金融機関ならではの取組を今後も継続して、埼玉県的环境意識醸成の一翼を担っていきたいと考えております。

**江田：**地元信用金庫ならではの地域貢献ですね。今後のご活躍も楽しみにしています。

### 地方公共団体担当者向け グリーン購入実践講座

5月に開催したグリーン購入基礎講座が好評を博したことから、11月11日（水）に武蔵浦和コミュニティセンター第4集会室にて実践講座を開催しました。

グリーン購入ネットワーク事務局次長 深津氏から

県内外のグリーン購入及び環境配慮契約の先進事例を解説いただいた後、秩父市のご担当者から、市内各施設や周



秩父市による事例発表

辺4町（横瀬町、皆野町、長瀬町、小鹿野町）と協力して行っている実績把握システム（秩父市温室効果ガス排出量収集管理システム）やグリーン購入による効果の可視化等の工夫についてご紹介をいただきました。

その後全員で、各市のグリーン購入推進における工夫や特徴、苦勞等について情報交換を行いました。今後も自治体や企業対象のグリーン購入基礎講座や実践講座を開催していきたいと思っております。



意見交換の様子

### 体験学習会「水素社会の展望&燃料電池自動車（FCV）・電気自動車（EV）試乗会」

2015年10月19日（月）、ファインモータースクール大宮校にて、埼玉GPN体験学習会を開催しました。



運転したMIRAIとMC-β

試乗会では、当会会員の毎日興業（株）が所有する燃料電池自動車「MIRAI」とさいたま市が所有する電気自動車MC-βを試乗しました。どちらの車両も排ガス、CO<sub>2</sub>を排出しないため、環境負荷の少ない次世代自動車としての普及が期待されています。試乗した参加者

は、モーター駆動車ならではの静寂性とクリーンかつパワフルな加速力に、一堂驚きを隠せない様子でした。



興味が高まるモータールーム

続く研修会では、東京ガス(株)埼玉

支社の生田目副支社長より『水素エネルギー社会の展望』と題し講演を頂きました。生田目氏からは、水素エネルギーは環境負荷の低減はもとより、さまざまな資源から製造する事が可能です。実用段階に入った燃料電池自動車や家庭用燃料電池をはじめ、将来にわたりエネルギー利用の多様化にも大きく貢献されることが期待されています。水素エネルギーの普及拡大を図るためにも、まずは「家庭用燃料電池」と「燃料電池自動車」の導入、並びに「水素ステーション」の整備促進をすすめることが必要不可欠である、と将来の水素社会のイメージと現状を分かりやすく解説頂きました。



講演の様子

併せて、試乗会の会場を提供頂いたファインモータースクール大宮校の古田開発リーダーから、今回試乗したエコカーでも、ドライバー次第でさらなる環境負荷の低減を図ることが可能であることから、車両特性に合わせたエコドライブの実践方法を解説頂きました。また、エコドライブのさらなる普及に向けた取組等についてお話を頂きました。

## エコプロダクツ2015を見て

2015年12月10日～12日に東京ビッグサイトで開催された日本最大の参加体験型環境イベント・エコプロダクツ2015に参加しました。

今年で17回目となったこの環境展示会のサブタイトルは「わたしが選ぶクールな未来」で、印象深かった展示は、電力自由化、水素社会、食のゾーン、「地球にも社会にもやさしく」と謳ったエシカルライフ関連でした。

水素社会関連の展示では、自動車メーカー各社が展示している水素自動車を始めとするエコカーが来場者の注目を浴びていました。



表彰式

水素をエネルギー源として発電して走る燃料電池自動車(FCV)のスケルトンが展示され、動作原理がわかりやすく説明されていました。

また、イベントステージではグリーン購入ネットワーク主催の第17回グリーン購入大賞表彰式が開催されました。今回埼玉県関連では、春日部市が優秀賞、入間郡三芳町の産業廃棄物処理業者、石坂産業(株)や、入間市の梱包材メーカーのカネパッケージ(株)が審査員奨励賞を受与され、埼玉GPNとしても嬉しい限りでした。

受賞団体の取組事例発表会にも参加し、地球温暖化防止や生物多様性につながる環境活動を地道に進めている団体や企業を拝見して、その輪が更に広がることに期待したいと思いました。



事例発表

消費者側が環境に配慮した製品やサービスを優先的に購入することで、生産者の環境配慮への努力を促す「グリーン購入」の役割はますます重要であり、これからも持続可能な社会構築に向け埼玉GPN活動が求められているのだと感じました。

## 会員紹介 東京ガス(株)埼玉支社

～あなたとずっと、今日よりもっと～

弊社は明治18年に初代社長渋沢栄一が創設以来、130年の間首都圏のガス事業を担ってきました。昭和44年(1969年)には、主原料として液化天然ガス(LNG)を導入し、エネルギーの安定供給と環境保全の面で大きな飛躍を遂げることができました。天然ガスは

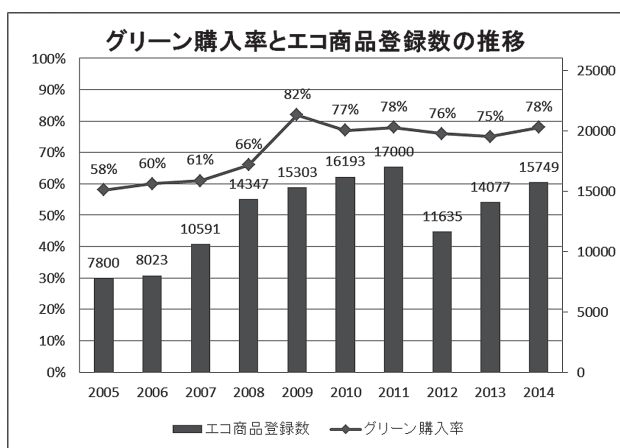


出張授業「育むエコ食」

LNG基地で気化し、都市ガスとしてガス導管でお客さま先まで送るため、エネルギー変換や輸送によるロスがありません。東京ガスグループはCO<sub>2</sub>排出の少ない天然ガスの利用拡大として、コージェネレーションの普及や、環境性・防災性に優れたスマートエネルギーネットワークの展開を図っています。

また、地域においては小・中学校への環境エネルギー教育「燃料電池ってなんだろう」「育むエコ食」等を実施しています。市民向けにはグリーン購入や地産地消等、環境に配慮した食生活の広報・啓発事業として「エコ・クッキング講座」等があります。

弊社は1996年からグリーン購入の取り組みを開始し、2000年に電子カタログ購買を導入しました。さらに、環境負荷を総合的に低減する考え方により「グリーン購入ガイドライン」を策定。事務用品に加え、工事・役務、部材などの調達・購入までグリーン購入の対象を拡大しています。



※2011年以前のエコ商品登録数は当社グループ全体の数値。2012年以降はグリーン購入率に合わせて単体での記載と改めました。

4月からの電力自由化にともない、弊社も電力販売を始めます。すでに首都圏に約130万kWの電源を確

保しており、2020年に300万kWに拡充する予定です。今後もこれまで都市ガス事業で培ってきた強みを活かし、環境に配慮した安定的かつ低廉で、お客さまのニーズに合ったエネルギーをお届けしてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

## 埼玉GPN会員一覧

順不同

りそな総合研究所(株)、(株)ぶぎん地域経済研究所、(株)ハイディ日高、(株)テレビ埼玉ミュージック、大宮アルディージャ、浦和レッドダイヤモンズ、埼玉日産自動車(株)、武州ガス(株)、(有)タカザワ企画、(有)パル、(株)関東パイプ技研、埼玉トヨペット(株)、ポラス(株)、リコージャパン(株) 関東事業本部 埼玉支社、望月印刷(株)、(株)イーシティ埼玉、(株)FMNACK5、(株)デサン、(株)タカヤマ、(株)アクセル、(株)ビージーサービス、武州産業(株)、(株)埼玉りそな銀行、(株)ビルテクノマイニチ、(株)松永建設、(医)誠昇会北本共済病院、(株)マツハ、税理士法人レッドサポート、(株)武蔵野銀行、(株)アルク設計事務所、埼玉縣信用金庫、(株)エンライト、(株)ワーム、(株)ジャスト、東京ガス(株)埼玉支社、(株)ユーパーツ、(株)エコ環境システム、(株)松柳園、(株)甲商、(株)ビルヒット、(株)東京化成製作所、アピカ(株)、コクヨマーケティング(株)埼玉支店、富士ゼロックス埼玉(株)、国際チャート(株)、(株)ベルエール、(株)ハイクレ、フォーレスト(株)、サンケイ銅器(株)、大成ロテック(株)、(株)ジャパンアート、(株)アートドットコム、(株)シール堂印刷、(株)埼玉ディエスジャパン、(社福)埼玉福祉会、毎日興業(株)、(株)与野フードセンター、マルキュー(株)、(株)埼玉新聞社、(株)国太楼、(株)太陽商工、(株)神谷製作所、(株)ヒメプラ、サイエンス(株)、戸田市、埼玉県、さいたま市、日高市、川口市、コープみらい、NPO法人EEハーモニー、埼玉県商工会連合会、公益財団法人さいたま市産業創造財団、公益財団法人埼玉県産業振興公社、埼玉中小企業家同友会、さいたま商工会議所、埼玉県中小企業団体中央会、公益財団法人埼玉県公園緑地協会、一般社団法人埼玉県トラック協会、一般社団法人埼玉県環境検査研究協会

### ■入会案内

団体会員、サポーター（個人会員）があります。申込書はHPからもダウンロードできます。ぜひ一緒にグリーン購入を。

### ■発行：埼玉グリーン購入ネットワーク

〒337-0053さいたま市見沼区大和田町2-1322-2大和田NPOプラザ内  
TEL.048-749-1217/FAX.048-749-1218  
E-mail saitamagpn@yahoo.co.jp  
Home Page <http://www.saitamagpn.jp/>